

令和6年度和歌山県立那賀高等学校第2回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和7年3月5日(水) 10:00~12:00

2 会 場 那賀高等学校 会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 校長あいさつ

会長あいさつ

(3) 出席：岸田正幸 細田能成 大西英喜 川崎勝規 森文哉

欠席者：福山晴美 清水謙作

傍聴者：教頭 事務長 国際教育部長 進路指導部長 教務部長

(4) 二年生総探発表会見学・感想

・クイズ形式により、飽きないようにしていた。

模造紙1枚ではもったいない。2、3枚でもいいのではないか。

(教務部長) ポスターセッションの流れで1枚にしている。

・1枚には意味がある。1枚にまとめる力を養う。

・多くの生徒が那賀振興局に来てくれて関わることができた。事前に振興局職員が出張授業をした方が良い。生徒の食いつきの良いテーマやそうでないテーマが分かれる。「選挙」などは関心が低い。

・オーバーツーリズム、有意義な活動である。

・橋本高校は、熱心である。他の学校も見てもよい。大ホールを借りている。

ブラッシュアップ、発表の仕方が課題。棒読みをなくす。

(5) 協議題

【1】令和6年度学校評価シートについて

(校長から説明)

(校長) 4つの重点目標確認。資料4より入試出願状況、各地域別出願状況、昨年との比較で国際科が増えている。コロナが明け、国際交流が増えてきているからである。授業改善、授業参観、教員同士で行う。11月授業参観日設定、開放月間として。ICT活用、R8から生徒が個人でパソコン購入する予定。地域連携事業は、資料3で説明、外部の方との交流、新しい取り組みもある。国際交流事業は、記載どおり、ホストファミリー多数受け入れ。ホームページをリニューアルする、インスタグラムを開設。国際交流会はすでにある。働き方改革は、記載どおり。

・生徒からICT環境が不十分と聞くが、ICT活用、通信環境はどうか。

(校長) 整いつつある。強化される。

・部活動の地域移行はどうか。働き方改革とも関連する。

(校長) 高校では、難しい。中学校からスタート。

・進捗度Aはないのか

(校長) 進路指導はAに近い。

- ・国際交流活動は、Aでもよいのではないか。十分値する。
学校行事精選はC、このあたり、どういう生徒を育てたいのか。明確にしていく。
何に力を入れていくのか。
 - ・教員の働きがいを作っていく。生徒のために何をするのか。支援学校とも交流している。
 - ・地域清掃活動を学校全体で取り組むのもよい。
 - ・那高祭の開放。小中も参加できるように。
- (校長) 現在は、平日なので難しい。金土の開催であれば可能となる。
- ・実際に見たほうがよい。開放をもっとしてほしい。地域に方にも。
岩出市の活性化、来年度から事業がある。

【2】来年度に向けて

- ・生徒会を活発に。生徒をからめての議論をすればよい。

【3】その他

- ・社会体験がよいのでは。
- ・インターンシップがよい。職場体験をさせる。

(5) 閉会

校長謝辞

4 資料

- (1) 二年生総探発表会
- (2) 令和6年度学校評価シート
- (3) 地域連携・国際交流事業実施状況
- (4) 令和7年度高校入試出願状況
- (5) 第1回議事録